

# 神戸大学交響楽団

第61回定期演奏会





# PROGRAM

## 神戸大学交響楽団 第61回定期演奏会

Kobe University Symphony Orchestra 61th Regular Concert

「イーゴリ公」序曲

ボロディン

指揮 得本 和音  
コンサートミストレス 中川侑香理

交響詩「英雄の歌」

ドヴォルザーク

指揮 井村 誠貴  
コンサートマスター 青柳 翔丸

交響曲第9番 ハ長調

シューベルト

指揮 井村 誠貴  
コンサートマスター 池邊 正大



2011年12月24日(土) 午後7時開演

兵庫県立芸術文化センター **KOBELCO** 大ホール

後援＝兵庫県・神戸市民文化復興財団・兵庫県オーケストラ協議会・神戸新聞社



客演指揮 井村 誠貴 (いむら まさき)

オペラ指揮者。1994年大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として各地で研鑽を積み、これまでに菊池彦典氏をはじめ、多くの日本を代表する指揮者のもとでアシスタント・コンダクターとして多くの公演に携わり高い評価を得ている。オペラレパートリーも50演目を越え、主要作品の他にも、オペレッタや邦人作品の初演にも力を注いでいる。中でも喜歌劇楽友協会におけるJ. シュトラウス「ウィーン気質」の邦人初演は注目を集め、高い評価を得ている。2001年には年間オペラ公演回数が日本人では第4位に入るなどオペラ指揮者としての地位を確立。また同年イタリアに留学。現地ではAs. Li. Coの北イタリア・オペラ公演ツアーに同行し、副指揮者として高い評価を得た。管弦楽では、京都フィルハーモニー室内合奏団を中心にコンサートを定期的に行う一方、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪交響楽団、オペラハウス管弦楽団等を客演。また岐阜県交響楽団、大阪市民管弦楽団、京都府立医科大学交響楽団、神戸大学交響楽団、大阪大学交響楽団、大阪市立大学交響楽団等との定期演奏会を客演指揮するなど、アマチュアオーケストラの分野においても貴重な存在となっている。さらに大阪市音楽団、ナゴヤディレクターズバンド等の吹奏楽団との関係も深く、その分野でも注目を集めている。近年はミュージカルにも活動の場を広げ、1999年の「ラ・カージュ・オ・フォール」(市村正親)を皮切りに、「マイ・フェアレディ」(大地真央)、「レ・ミゼラブル」(山口祐一郎)、「ペテン師と詐欺師」(鹿賀丈史)、「The Musical AIDA」(安欄けい)、「キャバレー」(藤原紀香)のロングラン公演を成功させライブCD及びDVDを発売。また、岩崎宏美や、尾崎紀世彦、佐々木秀実らの実力派シンガーとの共演も多く、コンサートでの軽妙なトークも話題となっている。その活動の幅は指揮活動だけにとどまらず、オペラ演出、企画構成、さらには編曲者としての活動も著しく、マルチな才能を発揮。2011年には、岐阜3000人の第九を成功に導くなど、多方面で大きな役割を担っている。

クラシック音楽にとらわれない幅広いジャンル、年間200公演近くに及ぶ実績と、繊細且つダイナミックな指揮は、多くのファンを魅了し続けている。指揮を、湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、オーケストラMF I 指揮者。

※トレーナーの先生方※

ギオルギ・バブアゼ (関西フィルハーモニー管弦楽団 コンサートマスター)  
徳田 知 希 (大阪交響楽団 首席トランペット奏者)  
村 瀬 司 (大阪交響楽団 首席クラリネット奏者)

以上の先生方にご指導頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。